

**NEWS RELEASE**

平成 19 年 11 月 9 日

株式会社 電通  
代表取締役社長 高嶋達佳  
(東証第 1 部 コード番号 : 4324)**平成 20 年 3 月期中間決算のお知らせ****ー連結売上高 9,973 億円、営業利益 234 億円、経常利益 301 億円、中間純利益 144 億円ー**

株式会社電通（本社：東京、社長：高嶋達佳、資本金：589 億 6,710 万円）は、平成 19 年 11 月 9 日、東京・汐留の電通本社ビルで取締役会を開き、平成 20 年 3 月期の連結および単体の中間決算（平成 19 年 4 月～平成 19 年 9 月）を確定した。

当中間期におけるわが国経済は、引き続き緩やかな景気拡大を続けている。しかしながら賃金の伸び悩みや年金問題等の将来不安も加わって、生活者の消費マインドは盛り上がりには欠け、その結果、消費の足踏み状態を招き、広告費の伸び悩みにつながっていると思われる。

広告業界においては、クライアントや業種、メディアによって業績に差が出るとともに、広告会社間では激しい競争環境が続いている。

こうした中、電通グループの当中間期の連結業績は、前年同期に「2006FIFAワールドカップ<sup>TM</sup>ドイツ大会」などがあり好業績を記録したこと、またクライアント各社の広告支出への慎重な姿勢が多いことなど、厳しい経営環境にあったが、「第 11 回 IAAF 世界陸上競技選手権大阪大会」という世界的イベントへの取り組みをはじめ電通グループの総力を結集し、積極的な営業活動を展開した結果、売上高・売上総利益・営業利益は前年同期を下回ったものの、経常利益・中間純利益は前年同期を上回った。

当中間期の連結業績は、売上高 9,973 億 60 百万円（前年同期比 3.6%減）、売上総利益 1,658 億 75 百万円（同 1.3%減）、営業利益 234 億 37 百万円（同 13.7%減）、経常利益 301 億 76 百万円（同 3.6%増）となった。一方、北米子会社ジェネオン(USA)の業務範囲の縮小および外国映画などの国内放映権の共同販売を行なう D&T 組合事業からの撤退に伴う特別損失、退職給付信託の追加設定による特別利益等により、中間純利益は 144 億 44 百万円（同 11.0%増）となった。

また、当社単体の業績は、売上高 7,766 億 41 百万円（同 0.7%減）、売上総利益 1,063 億 44 百万円（同 2.6%増）、営業利益 170 億 60 百万円（同 1.8%減）、経常利益 273 億 32 百万円（同 14.6%増）、中間純利益 140 億 86 百万円（同 11.9%増）となった。

(社)日本経済研究センターによると、平成 19 年度の総広告費は前年度比 0.4%増と微増するものの、マス四媒体の成長率は低くとどまると予測されている(平成 19 年 9 月時点)。

こうした中、通期の連結業績見通しは、売上高 2 兆 658 億 71 百万円(前期比 1.3%減)、営業利益 592 億 39 百万円(同 5.7%減)、経常利益 714 億 63 百万円(同 2.0%増)、当期純利益 376 億 15 百万円(同 22.6%増)、通期の単体業績は、売上高 1 兆 5,968 億 90 百万円(同 0.3%減)、営業利益 378 億 23 百万円(同 1.7%減)、経常利益 505 億 84 百万円(同 5.9%増)、当期純利益 274 億 23 百万円(同 23.3%増)を予想している。

当中間期配当については、株主の皆様への利益還元を強化する見地から諸要素を総合的に考慮して、1 株につき 250 円増配して 1,750 円とする。

以上

**(注)将来の事象に係る記述に関する注意**

本業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断をしたものであり、潜在的なリスクや不確定要素等の要因が内在している。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性がある。

## 平成20年3月期 中間業績（連結）

自 平成19年4月 1日  
至 平成19年9月30日

株式会社 電 通

・当中間期の業績（記載金額は百万円未満を切り捨て表示）

### （1）中間連結貸借対照表要旨

（単位：百万円、％）

科 目		当 中 間 期 末		前 期 末	増減率 （△は減）
		（平成19年9月期）	（連単倍率）		
資産の部	流動資産	610,436	(1.23)	663,887	△ 8.1
	固定資産	604,179	(1.04)	604,162	0.0
	資産合計	1,214,615	(1.13)	1,268,049	△ 4.2
負債の部	流動負債	496,998	(1.06)	545,906	△ 9.0
	固定負債	133,289	(1.13)	145,097	△ 8.1
	負債合計	630,287	(1.07)	691,003	△ 8.8
純資産の部	株主資本	557,093	(1.14)	546,694	1.9
	評価・換算差額等	4,642	(1.66)	8,065	△ 42.4
	新株予約権	0	—	0	—
	少数株主持分	22,592	—	22,285	1.4
	純資産合計	584,328	(1.19)	577,046	1.3
負債及び純資産合計		1,214,615	(1.13)	1,268,049	△ 4.2

### （2）中間連結損益計算書要旨

（単位：百万円、％）

科 目	当 中 間 期		前 中 間 期	増減率 （△は減）
	（平成19年9月期）	（連単倍率）		
売上高	997,360	(1.28)	1,035,043	△ 3.6
売上総利益	165,875	(1.56)	168,139	△ 1.3
営業利益	23,437	(1.37)	27,144	△ 13.7
営業外収益	8,247	(0.71)	3,691	123.4
営業外費用	1,508	(1.09)	1,718	△ 12.2
経常利益	30,176	(1.10)	29,117	3.6
特別利益	8,641	(1.04)	1,589	443.5
特別損失	12,469	(0.87)	3,760	231.5
税金等調整前中間純利益	26,348	(1.24)	26,946	△ 2.2
中間純利益	14,444	(1.03)	13,011	11.0

### （3）中間連結キャッシュ・フロー計算書要旨

（単位：百万円、△は支出または減少）

科 目	当 中 間 期	前 中 間 期
	（平成19年9月期）	（平成18年9月期）
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,223	22,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	140	△ 14,886
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,469	△ 18,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,074	507
現金及び現金同等物の増減額	△ 5,030	△ 10,733
現金及び現金同等物の期首残高	62,015	78,412
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	663	274
現金及び現金同等物の中間期末残高	57,648	67,953

## 平成20年3月期 中間業績（単体）

自 平成19年4月 1日  
至 平成19年9月30日

株式会社 電 通

・当中間期の業績（記載金額は百万円未満を切り捨て表示）

### （1）中間貸借対照表要旨

（単位：百万円、％）

科 目		当中間期末 (平成19年9月期)	前期末 (平成19年3月期)	増減率 (△は減)
資産の部	流動資産	495,589	549,959	△ 9.9
	固定資産	583,680	585,846	△ 0.4
	資産合計	1,079,269	1,135,805	△ 5.0
負債の部	流動負債	469,181	518,486	△ 9.5
	固定負債	118,304	129,973	△ 9.0
	負債合計	587,486	648,459	△ 9.4
純資産の部	株主資本	488,978	478,544	2.2
	評価・換算差額等	2,804	8,800	△ 68.1
	純資産合計	491,783	487,345	0.9
負債及び純資産合計		1,079,269	1,135,805	△ 5.0

### （2）中間損益計算書要旨

（単位：百万円、％）

科 目	当中間期 (平成19年9月期)	前中間期 (平成18年9月期)	増減率 (△は減)
売上高	776,641	781,812	△ 0.7
売上総利益	106,344	103,649	2.6
営業利益	17,060	17,373	△ 1.8
営業外収益	11,657	7,865	48.2
営業外費用	1,384	1,380	0.3
経常利益	27,332	23,857	14.6
特別利益	8,286	1,455	469.2
特別損失	14,328	4,168	243.7
税引前中間純利益	21,291	21,145	0.7
中間純利益	14,086	12,587	11.9